

消化器病学

ナンバリング M3-S1-D01

責任者・コーディネーター	消化器内科消化管分野 松本 主之 教授		
担当講座・学科（分野）	消化器内科分野、外科学講座、放射線医学講座、病理診断学講座、歯学部口腔医学講座関連医学分野、小児科学講座、臨床腫瘍学講座、緩和医療学科		
担当教員	松本 主之 教授、佐々木 章 教授、新田 浩幸 教授、木村 祐輔 教授、千葉 俊美 教授、黒田 英克 特任教授、岩谷 岳 特任教授、梁井 俊一 准教授、柿坂 啓介 准教授、鈴木 信 准教授、梅邑 晃 准教授、加藤 健一 准教授、鳥谷 洋右 特任准教授、馬場 誠朗 講師、八重樫 瑞典 講師、杉本 亮 講師、吉田 雄一 特任講師、遠藤 啓 特任講師、阿部 珠美 助教、中村 春香 助教、佐々木 登希夫 助教、田金星 都 助教、河田 孝彦 非常勤講師、村上 晶彦 非常勤講師、大森 浩明 非常勤講師、廣田 茂 非常勤講師、加藤 智恵子 非常勤講師		
対象学年	3	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 36コマ 72.0時間
期間	通期		演習 0コマ 0.0時間 実習 0コマ 0.0時間

・学習方針（講義概要等）

小児および成人における消化管、肝・胆・膵疾患の病因、病理・病態生理、症候、画像、臨床検査、診断・鑑別診断、内科的・外科的治療および予後などについて総合的かつ系統的に学習し、消化器病学全体の診断と治療に関する思考能力を学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

1. 小児消化器病学
 新生児（胎児）から思春期までに見られる消化器疾患について学ぶことで、各発育期（新生児、乳児、幼児、学童、思春期）に特有の疾患や成人と異なった特徴を有する疾患について、その原因、病態生理、症候、診断・鑑別診断、治療、合併症、予防法を説明できる。

2. 小児消化器外科学
 小児の消化管、肝・胆・膵ならびに横隔膜・腹膜・腹壁などにおける外科的疾患について学ぶことで、病因、病態、治療方針、治療成績、予後を理解し説明できる。

3. 成人消化器内科学、消化器外科学、消化器放射線学、分子診断病理学
 成人における消化器疾患について学ぶことで、疾患概念、病因、臨床徴候、臨床検査所見、画像所見、診断・鑑別診断および治療法（内科的、外科的）、予後を説明できる。

（ディプロマ・ポリシー： 2,4,5 ）

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	正常新生児における消化器の発達生理を説明できる。
2	小児にみられる消化器症状から鑑別診断を挙げることができる。
3	小児期に特有な先天性疾患、後天性疾患について病態と病因を説明できる。

4	先天性食道閉鎖症、食道狭窄症、乳児肥厚性幽門狭窄症、先天性腸閉鎖・狭窄症、腸回転異常症、腸管重複症、Hirschsprung病、直腸肛門奇形臍帯ヘルニア、腹壁破裂などを説明できる。
5	虫垂炎、腸重積症、鼠径ヘルニアなどを説明できる。
6	胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症などを説明できる。
7	食道、胃、小腸・大腸の正常および異常病理組織・画像所見を説明できる。
8	食道、胃、小腸・大腸疾患の病態生理、治療法および予後を説明できる。
9	肝臓、胆道、膵臓の正常および異常病理組織・画像所見を説明できる。
10	肝臓、胆道、膵臓疾患の病態生理、治療法および予後を説明できる。
11	緩和医療を定義できる。
12	がん性疼痛の種類と病態について説明できる。
13	WHO方式がん疼痛治療法を説明できる。
14	鎮痛薬の種類・投与方法・代表的な副作用とその対策を説明できる。
15	小児の悪性固形腫瘍について説明できる。
16	肝炎ウイルスの基本構造と病原性を説明できる。
17	肝細胞障害の基本的機序を説明できる。
18	肝の臨床検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。
19	超音波診断機器の画像構成原理とそれによる診断の基本を理解できる。
20	薬物代謝の基本を説明できる。

・ 講義場所

講義：東1-C講義室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号	事前事後学修/ICT
講義	5/14(木)	1	消化器内科分野	松本 主之 教授	消化器内科学総論	7,8	<p>【事前学修】 消化器疾患の代表的な臨床症状を列挙し、それぞれの症状の説明文を作成する。 所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ消化器症状を発生機序別に分類してまとめること。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料を提示する</p>

講義	5/14(木)	2	外科学講座	佐々木 章 教授	消化器外科学総論	7,8,9	<p>【事前学修】 本講義の理解を深めるため、基本的手術手技（結紮・縫合等）、内視鏡外科手術、臓器移植について、配布資料および参考図書（標準外科学）を用いて事前に学習しておく。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義内容を振り返り、基本的手術手技、内視鏡外科手術（低侵襲性、開腹手術に比較した利点）、臓器移植の現状と課題についてまとめること。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	5/21(木)	1	病理診断学講座	杉本 亮 講師	消化管の基本構造と病理組織学、腫瘍総論	7,8	<p>【事前学修】 消化管の解剖、消化管腫瘍の臨床病理学的特徴を教科書を読んで予習しておく。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ消化管腫瘍の臨床病理学的特徴についてまとめること。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	5/21(木)	2	歯学部口腔医学講座関連医学分野	千葉 俊美 教授	消化管の生理と機能性疾患（過敏性腸症候群：IBS、機能性ディスぺプシア：FD）	7,8	<p>【事前学修】 消化管における消化、吸収、消化管運動、消化管ホルモン、機能性疾患についてまとめること。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ機能性消化管疾患（過敏性腸症候群、機能性ディスぺプシアなど）、消化管ホルモン産生腫瘍についてまとめること。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	5/25(月)	5	外科学講座	二階 春香 助教	外科的治療に必要な胃の局所解剖、胃切除後の合併症	7,8	<p>【事前学修】 胃の解剖、機能について、教科書などで整理しておく。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ胃の局所解剖、胃切除後障害について、箇条書きでまとめること。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料を提示する</p>

講義	5/28(木)	1	消化器内科分野	廣田 茂 非常勤講師	消化管の良性器質性疾患	7,8	<p>【事前学修】 食道・胃・十二指腸・小腸・大腸の基本的な構造・機能を予習しておくこと。所要時間30分程度</p> <p>【事後学修】 消化管の良性器質性疾患の代表的な疾患の内視鏡画像や造影画像および病態生理を復習すること。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	5/28(木)	2	放射線医学講座	加藤 健一 准教授	腹部画像診断1	7,8	<p>【事前学修】 腹部臓器の内眼解剖を復習する。腹膜腔と後腹膜について予習する。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ腸閉塞、腹腔内遊離ガス、腹水の単純X線所見についてまとめる。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	6/1(月)	5	外科学講座	馬場 誠朗 講師	胃腫瘍の外科治療	7,8	<p>【事前学修】 胃の血管解剖、病理に関して復習しておく。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 胃癌の進展様式に関して整理する。胃癌の手術法の適応と術式を整理する。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	6/4(木)	1	消化器内科分野	鳥谷 洋右 特任准教授	消化器内視鏡総論	7,8	<p>【事前学修】 臨床における消化器内視鏡検査の位置づけを予習しておく。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ各種内視鏡検査について理解を深める。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	6/4(木)	2	消化器内科分野	加藤 智恵子 非常勤講師	胃悪性腫瘍の診断と治療	7,8	<p>【事前学修】 胃の解剖、病理について予習しておく。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 胃悪性腫瘍の診断・治療について復習する。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】WebClassに事前資料を提示する</p>

講義	6/11(木)	1	外科学講座	佐々木 章 教授	食道外科学（局所解剖と良性疾患）	7,8	<p>【事前学修】 本講義の理解を深めるため、食道解剖、噴門括約筋機構（LES）、食道アカラシア、胃食道逆流症（GERD）について、配布資料および参考図書（標準外科学）を用いて事前に学習しておく。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 講義内容を振り返り、食道解剖、噴門括約筋機構（LES）の構成と役割、食道アカラシアの病態と治療、胃食道逆流症（GERD）の診断と治療についてまとめること。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	6/15(月)	5	外科学講座	馬場 誠朗 講師	食道癌の外科治療	7,8	<p>【事前学修】 胃の解剖と組織、胃腺の構成細胞と機能について復習しておく。</p> <p>【事後学修】 1) 胃悪性腫瘍の診断と治療について整理する、2) 各H. pylori感染診断法の利点・欠点、除菌治療法について整理する。</p> <p>【ICT】WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	10/1(木)	1	消化器内科分野	松本 主之 教授	炎症性腸疾患	7,8	<p>【事前学修】 クローン病、潰瘍性大腸炎について予習しておく。30分以上</p> <p>【事後学修】 小腸・大腸の炎症性疾患の鑑別診断を復習する。30分以上。</p> <p>【ICT】WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	10/1(木)	2	消化器内科分野	梁井 俊一 准教授	腫瘍性腸疾患の診断と治療（大腸癌、大腸ポリープ、消化管ポリポーシス）	7,8	<p>【事前学修】 大腸腫瘍に関して内科学の教科書を読み学習すること。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ大腸腫瘍にの診断と治療に関してまとめること。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】WebClassに事前資料を提示する</p>

講義	10/8(木)	1	外科学講座	八重樫 瑞典 講師	外科的治療に必要な大腸の局所解剖、大腸癌の外科治療	7,8	<p>【事前学修】 大腸癌の外科治療について、手術に必要な解剖、手術適応、術式、手術のアプローチ法、手術に伴う合併症などを教科書や事前資料を読み学習する。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 大腸癌の治療について、講義で学んだ特徴と治療法を復習しまとめること。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	10/8(木)	2	消化器内科分野	吉田 雄一 特任講師	肝の構造と生理機能およびその評価法、肝障害の機序	9,10,16,17	<p>【事前学修】 講義内容の項に記した「必要な予備知識」について基礎医学の教科書で知識を確認しておく。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 肝の生理機能をリストアップし、それぞれに対応する肝検査を分類してまとめておく。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】 Webclassに基礎知識確認試験および確認試験を掲載し、それぞれ事前、事後学習の目安とする。講義資料は事前にWebClassに掲載する。</p>
講義	10/15(木)	1	消化器内科分野	黒田 英克 特任教授	肝腫瘍の疫学・診断・治療	9,10,17,18,19	<p>【事前学修】 肝腫瘍に関して内科学の教科書を読み学習すること。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ肝腫瘍の疫学、診断、治療に関してまとめること。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	10/15(木)	2	消化器内科分野	柿坂 啓介 准教授	急性肝炎、劇症肝炎	7,8	<p>【事前学修】 急性肝炎・劇症肝炎について成書を読んで自分の言葉でまとめること。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 疾患の定義、急性肝炎の特徴、成因、診断、治療についてまとめる。所要時間30-60分</p> <p>【ICT】 Webclassに事前資料を提示する。双方向アプリを授業中に併用することを予定している。積極的に回答する努力をすること。</p>

講義	10/22(木)	1	消化器内科分野	吉田 雄一 特任講師	ウイルス性慢性肝疾患	9,10,16,17,18	<p>【事前学修】 講義内容の項に記した「必要な予備知識」について内科学の教科書を読み事前に確認しておくこと。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ肝炎ウイルスの種類、特徴、疫学、病態、ウイルスマーカー、診断、治療、感染予防についてまとめる。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】 Webclassに事前資料を提示する。講義中に設問を用いて理解度を確認する。</p>
講義	10/22(木)	2	消化器内科分野	遠藤 啓 特任講師	肝硬変の病因、病理、症候、診断と門脈圧亢進症	9,10,16	<p>【事前学修】 講義内容の項に記した「必要な予備知識」を内科学の教科書（もしくはstep内科、新・病態生理できた内科学、イヤernote等）で確認しておく。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ肝炎ウイルスの種類、特徴、疫学、病態、ウイルスマーカー、診断、治療、感染予防についてまとめておく。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】 Webclassに事前資料を提示する。講義中に設問を用いて理解度を確認する。</p>
講義	10/29(木)	1	消化器内科分野	佐々木 登希夫 助教	自己免疫性肝疾患・薬物性肝障害	9,10	<p>【事前学修】 自己免疫性肝炎，原発性胆汁性胆管炎，原発性硬化性胆管炎について疾患の特徴や特徴的な検査結果を箇条書きできるようにする。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 免疫を介した肝炎の機序の復習，AIH，PBC，PSCの病態と病理所見，特徴的検査所見，治療薬の復習．薬物性肝障害の分類と診断方法について復習．所要時間30分</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料を提示する</p>

講義	10/29(木)	2	消化器内科分野	阿部 珠美 助教	脂肪性肝疾患,アルコール性肝疾患	9,10	<p>【事前学修】 講義内容の項に記した「必要な予備知識」について基礎医学の教科書で知識を確認しておく。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 脂肪性肝疾患について、過栄養性とアルコール性の共通点と相違点を自分でまとめておく。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	11/5(木)	1	外科学講座	大森 浩明 非常勤講師	腹部救急疾患	5,7,8,9,10	<p>【事前学修】 食道から直腸までを、肝胆膵脾との位置関係に照らして図示できるようにしておく。所要時間30分以内</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ腹痛の種類を原因疾患と関係づける。虫垂炎の症状と発生する順番について覚える。腸閉塞の病態と種類について覚える。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	11/5(木)	2	放射線医学講座	加藤 健一 准教授	腹部画像診断2	7,9	<p>【事前学修】 代表的な消化器腫瘍（食道がん、胃がん、大腸がん）、膵臓腫瘍について概略を学習する。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 FDG-PET/CTの集積機序と読影を理解する。代表的な急性腹症について画像所見を整理する。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	11/12(木)	1	消化器内科分野	河田 孝彦 非常勤講師	膵疾患の診断と治療（膵癌・浸潤性膵管癌、膵神経内分泌腫瘍、嚢胞性膵疾患）	9,10	<p>【事前学修】 膵の発生と膵動脈・門脈の解剖、膵内分泌腺の構造・生理作用について教科書を読んで説明文を作成する。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 膵腫瘍の特徴、嚢胞性膵疾患の特徴をまとめること。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料を提示する</p>

講義	11/12(木)	2	消化器内科分野	河田 孝彦 非常勤講師	胆道・膵疾患の診断と治療（胆道癌、先天性胆道拡張症と膵・胆管合流異常、急性膵炎、慢性膵炎）	9,10	<p>【事前学修】 胆嚢収縮機序、胆道の壁構造、膵外分泌腺の生理作用について教科書を読んで説明文を作成する。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 胆嚢収縮機序、胆道壁の特徴、肝門部領域と遠位の境界、胆道拡張症と膵・胆管合流異常の病態、膵炎の原因をまとめること。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	11/19(木)	1	消化器内科分野	村上 晶彦 非常勤講師	膵胆道疾患の主要症状と病態生理	9,10	<p>【事前学修】 胆 膵の解剖、生理を教科書を用いて学習しておくこと。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 膵がんのリスク 急性膵炎 慢性膵炎 自己免疫性膵炎 総胆管結石の標準治療 胆のう結石の画像 膵胆管合流異常を知識としてまとめる。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	11/19(木)	2	外科学講座	梅邑 晃 准教授	外科侵襲学・周術期の栄養管理	7,8,9,10,20	<p>【事前学修】 事前にweb classにアップロードした講義資料に目を通し、理解が難しい部分について確認しておく。特に、SIRS、NST、栄養管理、サルコペニアなどについて。 所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 外科侵襲が生体においてどのような影響を及ぼすか、低栄養が様々な病態においてどのような影響をもたらすのかを確認し、その治療や支持療法としての栄養管理について回答できるようにしておく。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	11/26(木)	1	外科学講座	新田 浩幸 教授	外科的治療に必要な肝の局所解剖、肝腫瘍の外科治療	1,2,3,8,9	<p>【事前学修】 膵、胆道の解剖、生理、外科治療について標準外科学などを参考に学習する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 手術法など、図にかける様にイメージする。所要時間30分以上</p> <p>【ICT】WebClassに事前資料を提示する</p>

講義	11/26(木)	2	外科学講座	新田 浩幸 教授	外科的治療に必要な 膵胆道の局所解剖、 膵胆道の外科治療	1,2,3,7,8 ,9,10,15	<p>【事前学修】 講義内容の項に記した「必要な予備知識」について事前に調べておく。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 消化器発生の異常から生じる病態を理解しまとめる。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	12/3(木)	1	臨床腫瘍学講座	岩谷 岳 特任教授	消化器癌と化学療法	7,8,10	<p>【事前学修】 講義内容の項に記した「必要な予備知識」について基礎・基礎医学の教科書で知識を確認しておく。所要時間 30-45分</p> <p>【事後学修】 代表的な抗がん剤の作用機序についてまとめる。各消化管臓器における化学療法を対比してまとめておく。所要時間 30-60分</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	12/3(木)	2	緩和医療学科	木村 祐輔 教授	緩和ケア総論	11,12,1 3,14	<p>【事前学修】 講義内容の項に記した「必要な予備知識」について標準外科学等で予習すること。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ「緩和ケアの定義」「全人的苦痛」「WHO方式がん疼痛治療法」について整理しておく。所要時間 30分以上。</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料を提示する</p>
講義	12/10(木)	1	小児科学講座	田金 星都 助教	小児消化器疾患	1,2,3,4,5 ,6,7,8,9, 10	<p>【事前学修】 講義内容の項に記した「必要な予備知識」について参考書で知識を確認しておく。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 消化器の発生や小児の特性を理解し、各疾患の病態、症状、診断、治療、予防について整理する。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料を提示する</p>

講義	12/10(木)	2	小児科学講座	田金 星都 助教	小児消化器疾患	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	【事前学修】 講義内容の項に記した「必要な予備知識」について参考書で知識を確認しておく。所要時間 30分以上 【事後学修】 消化器の発生や小児の特性を理解し、各疾患の病態、症状、診断、治療、予防について整理する。所要時間30分以上 【ICT】WebClassに事前資料を提示する
講義	12/17(木)	1	外科学講座	鈴木 信 准教授	小児消化器外科疾患 ①	1,2,3,4,5,7,8,19	【事前学修】 講義内容の項に記した「必要な予備知識」について標準小児外科学等で予習すること。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ小児消化器外科疾患に関して病態・診断・治療について理解し、人体発生学との関連を整理しておく。所要時間 30分以上 【ICT】WebClassに事前資料を提示する
講義	12/17(木)	2	外科学講座	鈴木 信 准教授	小児消化器外科疾患 ②	1,2,3,6,9,10,15,17,18,19	【事前学修】 講義内容の項に記した「必要な予備知識」について標準小児外科学等で予習すること。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で学んだ小児消化器外科疾患に関して病態・診断・治療について理解し、人体発生学との関連を整理しておく。所要時間 30分以上 【ICT】WebClassに事前資料を提示する

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
推薦図書	標準外科学 第17版	池田徳彦・大木隆生・猪股雅史・篠原 尚 編集	医学書院	2025
推薦図書	標準小児科学 第9版	原 寿郎 監修	医学書院	2022
推薦図書	標準小児外科学 第8版	上野滋 監修、仁尾正記・奥山宏臣・田尻達郎 編集	医学書院	2022
推薦図書	ステップアップ 内視鏡外科手術	佐々木章 編集	医学書院	2012
推薦図書	内科学第11版	矢崎義雄総編集	朝倉書店	2017
参考書	臨床緩和ケア 第3版	大学病院の緩和ケアを考える会編	青海社	2013
推薦図書	新臨床内科学 第9版	高久史麿他監修	医学書院	2019
参考書	急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン2018	急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン改訂出版委員会	医学図書出版	2018

参考書	急性肺炎診療ガイドライン2021 第5版	急性肺炎診療ガイドライン2021第5版改訂出版委員会	金原出版	2021
-----	----------------------	----------------------------	------	------

・成績評価方法

<p>【総括評価】 中間試験（前期進級試験）25%、進級試験成績（後期進級試験）75%で評価し、100点満点の60点以上を合格とする。 なお、後期進級試験範囲には前期進級試験範囲を含む。</p> <p>【形成的評価】 小テストを実施して講義内容の理解度を確認し、その結果を学生にフィードバックする。 実習中の口頭試問および毎時間の実習内容等をまとめたポートフォリオを評価し、学生にフィードバックする。</p>								
到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1～20	2、4、5	25			75			100
合計		25			75			100

・特記事項・その他

<p>1. 小児消化器病学 消化管の発生と発達から、疾患の病態生理を講義する。また、小児消化器疾患の“common diseases”を中心にその基本的知識について、その要点を記載したプリント（A4）を用いて解説する。</p> <p>2. 小児消化器外科学 スライド、プリントなどを用いて小児消化器外科疾患の病態生理、診断、治療などを中心に解説する。</p> <p>3. 成人消化器内科学・消化器外科学・消化器放射線学、分子診断病理学 スライド、プリントなどを用いて消化器疾患の病態生理、診断、治療などを中心として講義する。</p> <p>シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本科目では、事前事後学修以外に各回2時間の自己学修を要す。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。講義資料はWebclassで配信する。</p> <p>当該科目に関連する実務経験の有無 有 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。</p>

・教育資源

教科書・参考書・講義室・PC

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン MacBook Pro 一式	1	講義にて使用
講義	デスクトップパソコン iMac Retina	1	学生講義・スライド作成のため
講義	Mac mini	1	講義にて使用
講義	ノートパソコン MacBook Air 一式	1	講義にて使用
講義	ノートパソコン iMac 一式	1	講義にて使用
講義	ノートパソコン MacBook Air 一式	1	講義にて使用
講義	ノートパソコン Spectre x360 16-aa0002TX	3	講義にて使用